

令和6年9月13日
愛媛大学

愛媛大学大学院農学研究科附属ハダカムギ開発研究センター 裸麦が創る食と農の未来フォーラム 2024 開催について

愛媛大学大学院農学研究科では、裸麦遺伝資源コレクションを構築し、それを活用した機能性及び生産性に関わる優良形質の選抜と品種開発を行うとともに、実需者ニーズを反映した有効活用法を開発することで、裸麦の生産振興と需要拡大に貢献することを目的として、令和3年に「ハダカムギ開発研究センター」を設置しました。

このたび、「裸麦が創る食と農の未来フォーラム 2024」を開催することとなりました。本フォーラムは、健康機能性等の裸麦の特徴や利用拡大の可能性について、産官学の各々の視点から紹介し、裸麦の利用拡大や消費拡大を図るきっかけとすることを目的としています。

つきましては、地域へ広く周知いただきますとともに、取材くださいますようお願いいたします。

記

日時: 令和6年10月19日(土) 13時00分~16時30分

場所: 愛媛大学地域協働センター中予(東温市田窪 300-2)

参加申込: 参加申込みは、別紙チラシの二次元バーコードからお申し込みください。

当日参加も可能です。

<お願い>

事前に取材の参加者数を把握するため、取材に来られる場合は 10月11日(金)までに、電話又はメールにて下記担当までご一報ください。

本件に関する問い合わせ先

ハダカムギ開発研究センター長 荒木 卓哉

TEL: 089-946-9526

Mail: hbarley@agr.ehime-u.ac.jp

※送付資料 3 枚(本紙を含む)

裸麦が創る食と農の 未来フォーラム2024

～裸麦の周知・利用拡大に向けて～

参加費
無料

10月19日（土）

13:00・16:30

開会挨拶

共催者挨拶

治多 伸介（愛媛大学大学院農学研究科研究科長）

加藤 章（東温市長）

協力者挨拶

足立 整（中国四国農政局生産部長）

基調講演 13:20～

1. はだか麦をめぐる現状

足立 整：中国四国農政局 生産部長

2. スーパーフードはだか麦！

食品成分表示への収載を見据えて

垣原登志子：松山短期大学 教授
愛媛大学客員教授

3. 愛媛の裸麦、未来へ紡ぐ

牧 秀宣：有限会社ジェイ・ウィングファーム
代表取締役

休憩

パネルディスカッション 14:30～

「はだか麦を知る、食べる、伝える。

えひめから全国へ」

コーディネーター

荒木 卓哉（附属ハダカムギ開発研究センターセンター長）

パネリスト

小林 桃佳（中国四国農政局生産部生産振興課課長補佐）

小川 英伸（愛媛県農林水産部農業振興局 局長）

牧 秀宣（有限会社ジェイ・ウィングファーム代表取締役）

曾我 尚登（㈱曾我増平商店 代表取締役）

今井恵都子（東温市 栄養教諭）

垣原登志子（松山短期大学 教授、愛媛大学客員教授）

閉会挨拶

今村 健志（地域協働センター中予 センター長）

講演終了後、商品展示見学

参加申込

事前申し込みは右のQRコードから
当日参加可

裸麦が創る食と農の未来フォーラム
2024 参加申込みフォーム



開催場所

愛媛大学地域協働センター中予

概要

裸麦は四国、中国、九州地方で広く生産されており、古くから裸麦を原料とする味噌や醤油・焼酎などの瀬戸内地域独特の食文化を育んできました。2025年3月に裸麦が食品成分表に掲載されることを目指し、裸麦の食文化を継承、発展させていきたいと考えております。裸麦の周知・消費拡大を進めていくためには、健康機能性等の裸麦の特徴を理解してもらうこと、利用してもらうことが重要だと考えております。本シンポジウムでは裸麦の周知・利用拡大の可能性について考えたいと思っています。

共催

愛媛大学大学院農学研究科附属ハダカムギ開発研究センター、
松山大学、東温市、ものづくり産業支援事業「はだか麦新加工
技術確立、商品開発」研究部会

後援

愛媛県、愛媛大学地域協働センター中予、愛媛新聞社、南海放送、
あいテレビ、愛媛朝日テレビ、テレビ愛媛

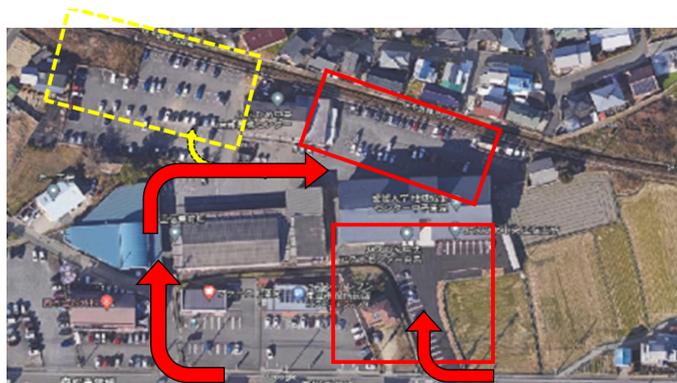
協力

中国四国農政局

会場案内・駐車場

会場 愛媛大学地域協働センター中予
会場住所 〒791-0212 愛媛県東温市田窪 3 0 0 - 2

最寄り駅
伊予鉄道横河原線 田窪駅
徒歩7分



赤枠の場所へ駐車をしてください
矢印は駐車場への進入方法になります

商品展示協力企業

株式会社 松山丸三

J A 全農 えひめ

有限会社 ジェイ・ウィングファーム

株式会社 曾我増平商店

株式会社 母恵夢本舗

問い合わせ先

附属ハダカムギ開発研究センター
事務局 担当(垣原)

hbarley@agr.ehime-u.ac.jp

t.kakihara@g.matsuyama-u.ac.jp